事例No.	1141
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	鳥取県智頭町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・公共施設活用

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度を活用した森林整備の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

鳥取県　智頭町（森林経営管理制度を活用した森林整備の推進）

- 93％が山林で、江戸時代から続く林業地である智頭町では、森林所有者の経営意欲が高く人工林率79％、51年生以上が73％と森林資源が充実している。人工林の７割は森林経営計画が策定または森林経営委託が締結されており、計画的な森林の経営、管理がされている。しかし、木材価格の低迷、不在村者の増加により森林所有者の山への関心は薄れ、適切に管理されていない現状もある。このため、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する。
- 令和元年度は80ヘクタールの意向調査を実施し、26名の森林所有者から18ヘクタールの森林を町に経営を委ねたいとの意向が示された。令和２年度においては、この調査結果をもとに経営管理権集積計画を作成し、林業経営に適している森林は意欲と能力のある林業経営者に再委託、林業経営に適していない森林は市町村森林経営管理事業により町が間伐を実施する予定。

□　事業内容

森林経営管理制度実施に伴う経営管理意向調査の実施

森林経営計画が策定されていない、境界の明確化が図られ、過去10年程度施業履歴がない私有林人工林80ha（53人分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。

【事　業　費】1,124千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　80ha

調査結果

調査対象53人のうち44人が回答

うち26人（18ha）が町に経営を委託したい意向



（意向調査地の様子）



（地元説明会の様子）

□　事業スキーム

森林所有者への意向調査の実施

町 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

□　工夫・留意した点

・森林経営計画が策定されている林班は経営管理されている森林と判断。

・境界確定の煩雑さが予想されるため、既に地籍調査の終了した地区から意向調査を実施。

・意向調査を実施することにより、森林所有者の林業経営への関心を喚起したい。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	24,465千円
②私有林人工林面積（※１）	11,141ha
③林野率（※２）	92.7％
④人口（※３）	7,154人
⑤林業就業者数（※４）	105人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」